

- 問1 大正時代の政治において、1918年に発足した原敬内閣は「本格的な政党内閣」と呼ばれます。それまでの藩閥内閣と比べ、この内閣の構成にはどのような特徴がありますか。衆議院の議席状況をふまえた説明として最も適切なものを選びなさい。(2023年 奈良公立入試 類似)
- 衆議院で第一党の地位にあった立憲政友会の総裁が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣を除いた閣僚の多くを自党の党員で構成した。
  - 衆議院の全ての政党から均等に閣僚を任命し、特定の政党の意見に偏らない挙国一致の体制を整えた。
  - 薩摩藩や長州藩出身の有力者が、衆議院の議席数に関わらず天皇の信任によって閣僚を独占した。
  - 米騒動を鎮圧するために、軍部と貴族院が中心となって組織され、衆議院の政党とは距離を置いた。
- 問2 第一次世界大戦後、平和を維持するための原則として「十四か条の平和原則」を提唱し、世界初の国際平和機構である国際連盟の設立を提案したアメリカ合衆国の大統領は誰ですか。(2020年 山形県公立入試 類似)
- ウッドロー・ウィルソン
  - フランクリン・ルーズベルト
  - ジョージ・ワシントン
  - セオドア・ルーズベルト
- 問3 第一次世界大戦の終結から世界恐慌が起こるまでの1920年代の世界の動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2017年 北海道公立入試 類似)
- レーニンの指導により、世界初の社会主義国家であるソビエト社会主義共和国連邦が成立した。
  - 東西冷戦の終結を象徴する出来事として、ベルリンの壁が崩壊した。
  - アメリカ軍の撤退によってベトナム戦争が終結し、南北ベトナムが統一された。
  - ビスマルクの指導の下、プロイセンを中心としてドイツ帝国が成立した。
- 問4 一九一八年に発生した米騒動は、当時の政治体制に大きな影響を与えました。この騒動の責任を取って寺内正毅内閣が総辞職した後に成立した、日本で初めての本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。(2018年 鳥取公立入試 類似)
- 原敬
  - 犬養毅
  - 加藤高明
  - 桂太郎
- 問5 大正デモクラシーの理論的指導者である吉野作造が、西洋のデモクラシー（民主主義）を「民本主義」と訳して提唱した背景として、最も適切な説明はどれですか。(2017年 秋田県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法下で主権は天皇にあるとされていたため、主権の所在を問わずに民衆の意向を重視する考え方を示そうとしたから
  - 江戸時代からの封建的な身分制度を完全に打破し、天皇制を廃止して共和制を樹立することを目指していたから
  - 日露戦争後の増税に苦しむ国民の不満を抑えるため、政府が主導して国民の権利を一部制限しようとしたから
  - 欧米諸国との不平等条約を改正するために、日本の法制度が近代化されていることを対外的にアピールしなかったから
- 問6 大正時代の社会において、新しいメディアが果たした役割とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この時期の年表では1925年に大きな技術的転換点が記されています。(2016年 愛媛公立入試 類似)
- ラジオ放送の開始により、音声を通じてニュースや娯楽が多くなる家庭へ同時に伝わるようになり、情報の共有が進んだ。
  - テレビ放送の普及により、映像を中心とした視覚的な情報がリアルタイムで全国に届けられ、人々のライフスタイルが劇的に変化した。
  - 自由民権運動の広まりを背景として、各地で藩閥政府を批判するための政談演説会が文化の中心的な役割を担った。
  - 『赤い鳥』などの子供向け雑誌の創刊により、それまで文字を読む習慣のなかった成人層へ向けた識字教育が急速に拡大した。
- 問7 第一次世界大戦中の1917年にロシアで革命が起こり、世界で初めての社会主義政権が誕生しました。これに対し、日本、アメリカ、イギリスなどが取った行動と、その目的について述べた文として正しいものはどれですか。(2015年 佐賀公立入試 類似)
- 社会主義の思想が自国や周辺地域に広がることを警戒し、シベリアへ軍隊を派遣して革命を阻止しようとした。
  - ロシアの新しい政権を承認する代わりに、満州から北樺太に至るまでの鉄道利権を日本へ譲渡させる交渉を行った。
  - ロシアが第一次世界大戦から離脱することを防ぐため、シベリアの資源を連合国側で共同管理する条約を締結した。
  - 日露戦争後の友好関係を維持するため、ロシア国内の混乱を鎮める目的で平和維持軍をシベリアへ派遣した。
- 問8 1918年に発生した米騒動に関連して、当時の国際情勢と国内の出来事との因果関係を説明した記述として正しいものはどれですか。(2018年 福島県公立入試 類似)
- ロシア革命の波及を恐れた日本がシベリア出兵を行い、それによる米価高騰が米騒動を引き起こして寺内正毅内閣が退陣した。
  - 第一次世界大戦の終結に伴う不況を打開するためにシベリア出兵が行われ、生活苦に陥った都市労働者が米騒動を首謀した。
  - 社会主義思想が日本国内に広まったことで、農村での小作争議と都市での米騒動が同時に発生し、普通選挙法が制定された。
  - シベリア出兵への反対運動が全国に広がるなかで、軍部が食糧管理を強化したことに反発した国民が各地で暴動を起こした。
- 問9 第一次世界大戦後の1921年から1922年にかけて、アメリカ合衆国の呼びかけで開催されたワシントン会議において、日本、アメリカ、イギリス、フランス、イタリアの間で合意された、海軍の軍備制限に関する内容はどのようなものですか。(2025年 愛媛公立入試 類似)
- 主力艦（戦艦）の保有比率を制限し、それ以上の建造を一定期間禁止する
  - 潜水艦と航空母艦のすべての保有を禁止し、廃棄する
  - すべての軍艦の保有を認めず、警察権のみを維持する
  - 各国の陸軍兵士の数を一律に半分に削減する
- 問10 日本の選挙制度の変遷をまとめた統計において、1928年の第16回総選挙は、それ以前の選挙と比べて有権者の数が大幅に増加した分岐点として記されています。この1928年の選挙で初めて実施された制度の内容として、最も適切な説明を選びなさい。(2024年 鳥取公立入試 類似)
- 満25歳以上のすべての男子に選挙権を認める普通選挙が初めて実施された。
  - 女性が初めて選挙に参加し、男女平等の普通選挙が実現した。
  - 満20歳以上のすべての国民に選挙権が与えられる新しい基準が適用された。
  - 納税額の制限が「直接国税15円以上」から「3円以上」へと大幅に緩和された。
- 問11 第一次世界大戦を終結させた1919年のベルサイユ条約の内容や背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。(2023年 群馬県公立入試 類似)
- パリ講和会議で結ばれ、ドイツに対して巨額の賠償金や軍備の制限を課した。
  - アメリカの仲介により結ばれ、日本が樺太の南半分を獲得することが認められた。
  - 第二次世界大戦の終結後、日本が主権を回復し国際社会に復帰するために結ばれた。
  - 東南アジア諸国との間で、戦争による被害を補償するために結ばれた。
- 問12 1920年代から1930年代の日本において、映画やラジオ放送といった「大衆娯楽」が都市部を中心に急速に普及した背景として、最も適切な説明はどれですか。(2017年 鳥取公立入試 類似)
- 工業化にともなう都市化が進み、給料生活者であるサラリーマンなどが余暇を楽しむようになった。
  - 鹿鳴館が開館したことで、西洋風の生活様式が全国の農村部まで瞬く間に浸透した。
  - 高度経済成長により、カラーテレビや電気冷蔵庫などの家電製品がすべての一般家庭に普及した。
  - コンピュータ技術の発達により、個人が自由に情報の発信や受信を行える環境が整った。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 衆議院で第一党の地位にあった立憲政友会の総裁が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣らを除いた閣僚の多くを自党の党員で構成した。	1918年、米騒動の結果として寺内正毅内閣が退陣した後、衆議院の第一党であった立憲政友会の総裁、原敬が首相に指名されました。原は、専門的な知識が必要とされる陸・海・外務大臣以外のほとんどの閣僚に自党の党員を起用しました。このように、議会で多数を占める政党が内閣を組織する仕組みが確立されたため、本格的な政党内閣の始まりと位置づけられています。
問2	答え 1 ウッドロー・ウィルソン	第一次世界大戦の講和会議であるパリ講和会議において、ウィルソンは民族自決や国際連盟の設立を含む「十四か条の平和原則」を示しました。この提案により1920年に国際連盟が発足しましたが、提案国であるアメリカは上院（議会）が反対したため、実際には加盟しませんでした。
問3	答え 1 レーニンの指導により、世界初の社会主義国家であるソビエト社会主義共和国連邦が成立した。	ロシア革命を経て、1922年にレーニンを指導者とする世界初の社会主義国家、ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が成立しました。選択肢にあるベルリンの壁崩壊は1989年、ベトナム戦争終結は1975年の出来事であり、いずれも第二次世界大戦後の冷戦期やその終結期にあたります。また、ドイツ帝国の成立は1871年の出来事です。
問4	答え 1 原敬	米騒動を武力で鎮圧した寺内内閣が国民の批判を浴びて退陣した後、衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相に指名されました。陸軍・海軍・外務の三大臣以外をすべて政党員で固めたこの内閣の成立は、大正デモクラシーの大きな転換点となりました。
問5	答え 1 大日本帝国憲法下で主権は天皇にあるとされていたため、主権の所在を問わずに民衆の意向を重視する考え方を示そうとしたから	当時の憲法では主権は天皇にあると明記されており、主権が国民にあるとする「民主主義」をそのまま主張することは困難でした。そこで吉野作造は、主権の所在という憲法上の問題は棚上げしつつ、政治の目的を「民衆の利益」に置き、決定を「民衆の意向」に従わせるべきだとする「民主主義」を唱えることで、現実的な改革を模索しました。
問6	答え 1 ラジオ放送の開始により、音声を通じてニュースや娯楽が多くの人々の家庭へ同時に伝わりやすくなり、情報の共有が進んだ。	1925年（大正14年）に始まったラジオ放送は、情報を瞬時に、かつ広範囲に届ける画期的なメディアでした。これにより、活字メディアだけでは届かなかった層にもニュースや音楽などの娯楽が浸透し、大衆文化を支える重要な基盤となりました。テレビ放送の開始は1953年（昭和28年）であり、自由民権運動は明治時代前期の出来事です。また、『赤い鳥』は成人向けではなく、子供の純性を育むための児童雑誌です。
問7	答え 1 社会主義の思想が自国や周辺地域に広がることを警戒し、シベリアへ軍隊を派遣して革命を阻止しようとした。	ロシア革命によって誕生した社会主義政権は、資本主義体制をとる日本や欧米諸国にとって脅威でした。そのため、各国はチェコスロバキア軍の救出を口実としながら、実際には革命の波及を食い止めるための「干渉戦争」としてシベリア出兵を行いました。しかし、この軍事行動はロシア国民の反発を招いただけでなく、多額の戦費を投じた割に成果が上がらず、最終的に各国は撤退を余儀なくされました。
問8	答え 1 ロシア革命の波及を恐れた日本がシベリア出兵を行い、それによる米価高騰が米騒動を引き起こして寺内正毅内閣が退陣した。	ロシアで1917年に発生した社会主義革命（ロシア革命）の広がりを食い止めるため、日本を含む連合国はシベリアへ軍隊を送りました。この出兵の影響で起きた米騒動は、警察や軍隊が出動するほどの大規模なものとなり、当時の寺内正毅内閣はその責任を取って総辞職しました。その後、日本で初めての本格的な政党内閣となる原敬内閣が誕生する契機となりました。
問9	答え 1 主力艦（戦艦）の保有比率を制限し、それ以上の建造を一定期間禁止する	第一次世界大戦後の過剰な軍拡競争を抑えることを目的として、主力艦（戦艦・巡洋戦艦）の保有比率を米・英・日・仏・伊の5カ国間で決めました。日本は米・英の6割に制限されることとなり、これによって戦後の国際的な緊張を緩和しようとする「ワシントン体制」が構築されました。
問10	答え 1 満25歳以上のすべての男子に選挙権を認める普通選挙が初めて実施された。	1925年に制定された普通選挙法に基づいて、実際に初めて総選挙が行われたのは1928年です。それまでの「直接国税3円以上を納める満25歳以上の男子」という制限がなくなったため、有権者数はそれまでの約300万人から約1240万人へと4倍近くに急増しました。この時、政府は社会主義運動の広がりを警戒し、普通選挙法と同時に治安維持法を制定して取り締まりを強化したという背景があります。
問11	答え 1 パリ講和会議で結ばれ、ドイツに対して巨額の賠償金や軍備の制限を課した。	ベルサイユ条約は敗戦国ドイツに対して非常に厳しい制裁を課す内容でした。これが後にドイツ国内で不満が高まる一因となり、第二次世界大戦へとつながる背景の一つとなっています。他の選択肢にある「樺太の獲得」は日露戦争後のポーツマス条約、「主権の回復」はサンフランシスコ平和条約の内容です。
問12	答え 1 工業化にともなう都市化が進み、給料生活者であるサラリーマンなどが余暇を楽しむようになった。	大正時代から昭和初期にかけて、都市部で働く事務職や技術職などの給料生活者（サラリーマン）が増加し、彼らの生活様式が洋風化するとともに、休日や仕事終わりの時間を映画やラジオなどの娯楽に充てるようになりました。これが大衆娯楽普及の大きな要因です。鹿鳴館は明治時代初期の欧化政策に伴うもの、家電の普及は戦後の高度経済成長期、コンピュータの普及は現代に近い時期の出来事であり、時代背景が異なります。